



2026 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ キ サ イ ド
代 表 者 名 代表取締役 COO 山 本 正 幸
(コード番号：6521 東証グロース)
問 合 せ 先 上級執行役員 CFO 竹 内 健 吾
(TEL. 0551-26-0022)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 4 月 14 日に公表いたしました 2027 年 2 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期連結業績予想数値の修正(2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,828	933	788	597	52.14
今回修正予想 (B)	10,323	1,367	1,234	1,328	114.50
増減額 (B-A)	495	434	446	731	
増減率 (%)	5.03	46.51	56.59	122.44	
(ご参考) 前期実績 (2026年2月期)	10,040	542	674	△538	△46.99

2. 修正の理由

半導体事業では単結晶及びレーザ製品、新領域事業ではデータセンター向けファラデー回転子の出荷増加により、両事業の売上高が前回予想を上振れる見込みです。一方、ヘルスケア事業では、原材料価格の上昇を踏まえた取引条件の見直しについて主要顧客と協議を継続していることから、現時点で受注確度の高い案件をもとに見直した結果、下半期の売上高が前回予想を下振れる見込みです。

また、第2四半期累計期間においては、売上高が当初予想を上回ったことに加え、売上総利益率の改善等により営業利益が当初予想を上回りました。この上半期実績と下半期の見通しを踏まえ、通期の利益予想についても見直しました。以上により、売上高を前回予想比495百万円増の10,323百万円、営業利益を同434百万円増の1,367百万円に上方修正いたしました。

経常利益につきましても、前回予想比446百万円増の1,234百万円に上方修正いたしました。さらに、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、2026年9月9日付の「特別利益（固定資産受贈益）の計上に関するお知らせ」で公表のとおり、固定資産受贈益280百万円の特別利益計上等により、前回予想比731百万円増の1,328百万円に上方修正いたしました。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以 上